



2年ぶりに来村したジャングさん(左)ファミリー。妻の美穂さん(中)と李音くん(右)

# 外国語指導助手に スティーブ・ジャングさん

家族と一緒に2年ぶりの来村

九月一日、前任のジェニファー・フレンチさんの後任として、村外国語指導助手にアメリカ、サンフランシスコ出身のスティーブ・ジャングさん(三)が着任しました。ジャングさんは今回で二回

目の着任。以前は平成十一年八月から三年間勤務していましたが、ジャングさんはこれから、村内の各小中学校などで英語の指導をします。ジャングさんから皆さんへのメッセージを紹介します。

こんにちは。スティーブ・ジャングです。皆さんおぼえていますか？わたしは五年前に初めて普代村に来ました。英語指導助手として三年間楽しく働いて、住んでいました。本当にお世話になりました。

実はわたしは普代村に残りたかったけど、しかたがなく奥さんと子どもと三人でアメリカに引っ越しました。カリフォルニア州のサンフランシスコ市で二年ぐらい両親と一緒に暮らしていました。

でも、ずっと普代村が心の中に残っていました。そして再び普代村に来るチャンスがありました。ですのでうれしく日本に戻ってきました。

これから普代村での国際交流活動も、子どもたちと遊ぶのも、英語を教えるのもすごく楽しみにしています。もう一度どうぞよろしくお願いします。

(本文はジャングさんが日本語で書いたものです)

## 心と体に話!

### お口をきれいに、おいしく食事を!

今月は、歯科診療所から口腔(口の中)のことについてお話しします。

#### 味はどこで感じるの？

わたしたちの口の中には味を感じる味蕾という組織があります。味蕾は花の蕾のように並んで構成され、口の中全体で四五千個あります。そ



歯科診療所のスタッフの皆さん。皆さんの相談に優しく応じてくれます

の大部分は舌の表面にあり、わたしたちはそこで味を感じます。

#### 味覚が変わる原因は？

味には甘味、塩味、酸味、苦味、うまみの五つがあります。わたしたちの味覚機能は年齢とともに低下します。特に五十歳を過ぎると味蕾の数が減少し、甘味と塩味を感じにくくなります。そのため薄い味を識別しにくくなり、味が変わったと感じることがあります。

味覚が変わる原因は年齢だけではなく、口の中の状態にも左右されます。歯磨きを怠ったりすると口の中の清掃状態が悪くなり、味が感じにくくなります。その理由には、①味を感じる味

蕾が汚れて覆われ、味物質が味細胞に到達しにくくなる  
②歯周病などがあると、口の中の変化により、味細胞の感度が落ちてしまう——からです。逆に口の中をいつもきれいにしていると、味覚が回復し、砂糖や塩などの調味料の量を減らすこともできます。

#### お口の手入れ、いろは

口の手入れは歯磨きはもちろん、舌、ほおを含めた口の粘膜全体の清掃が必要です。歯ブラシなどで汚れをかき出すようにしてマッサージします。舌ブラシなどがあるとよりきれいになります。

食事は毎日続くものです。口の中をいつもきれいにし、毎日おいしくいただきたいものです。歯科診療所 歯科技工助手 速応 直美 ※次回は保健センターです。

## ●●ありがとう●●

### 今年も届いた 真心の車いす

八月六日、村茂市出身で福島県会津若松市で新聞店を経営している澤口泰幸さん(六二) Ⅱ 円内写真Ⅱから今年も特別養護老人ホーム「うねとり荘」(斉藤正明施設長、入所者五十人)に車



いす一台と車いす用のクッション二セットが寄贈されました。斉藤施設長は「利用者にとつ

て一番大切なものを寄贈いただきありがとうございます。大事に使わせていただきます」と話していました。

澤口さんは「お世話になった郷里に感謝の気持ちです」と平成九年から毎年車いすを一台同荘に贈り続けて今回で八回目。澤口さんの温かいご厚意に感謝申し上げます。